

地域資源を生かした観光振興と 若者の県内就職・県内定着について 意見交換を行いました。

県議会では、定期的に県民の皆さんとの意見交換会を行っており、令和5年度の後期は、12月14日に軽米町、12月21日に宮古市を会場に開催しました。

軽米町会場では、県北地域で活躍する様々な業種の方たちが参加し、「地域資源を生かした観光振興について」をテーマに、自然、文化、歴史、食文化など特色ある地域の資源や、海と山のネットワークを生かした観光の広がりについて意見を交わしました。

宮古市会場では、宮古市内の短大などで学ぶ学生たちが参加し、「若者の県内就職と県内定着について」をテーマに、就職先に県内を選ぶポイントや希望、若者の心を捉える岩手の魅力、必要な支援などについて意見を交わしました。

*詳しい内容は県議会ホームページでご覧いただけます。

宮古市会場

県民と県議会との意見交換会



軽米町会場



参加者の感想

大久保 瞳さん
(軽米町会場 / 特定非営利活動法人カシオペア市民情報ネットワーク放送局長)

カシオペア市民情報ネットワークは県北初のコミュニティFMとして2005年に開局し、現在は二戸市、一戸町、軽米町、九戸村と青森県一部のエリアで放送しています。今日は久慈市や洋野町など沿岸地域の皆さんとお話ができ有意義でした。インバウンドへの対応など、それぞれ課題を抱えながら活動されていることに共感しました。私の仕事は情報発信が主であり、日々のラジオ放送で観光を含めた地域の現状を伝えていきたいと思っています。

姉石 慎也さん

(宮古市会場 / 県立宮古高等技術専門学校金型技術科)

宮古市は金型部品の工場が多いと聞き、専門学校でしっかり技術を学びたいと思いました。金型技術科は地元で就職すると授業料などが補助されるので、それも魅力の一つでした。卒業後は地元の会社に就職します。自宅から通えるし、地域の役に立ちたいと思うからです。今日の参加者はほぼ同年代なのに、みんなしっかりした考えを持っていて勉強になりました。皆さんの意見を聞いて、自分ももっと社会のことや岩手のことを知りたいたいと思いました。

12月定例会のあらまし

12月定例会は、11月28日から12月12日まで開催されました。知事から提出された令和5年度若手県一般会計補正予算など、30件の議案は全て可決・同意され、委員会が提出した安全・安心を無視した無秩序なライドシェアの導入に反対し地域公共交通を守る施策の推進を求める意見書など13件の議案は全て可決されました。また、請願は8件全てが採択されました。

議決の状況

★議員別の賛否の状況は県議会ホームページでご覧いただけます。

■知事提出議案

◎令和5年度補正予算【可決】
一般会計 2件 特別会計 4件

◎条例議案【可決】

特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例など 8件

◎その他の議案【可決】

損害賠償請求事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについてなど 10件

請願の採択状況

★採択された請願の本文は県議会ホームページでご覧いただけます。

★請願の件名は請願書のとおり記載しています。

◎採択(意見書を発議し、関係機関に要望することとして採択)

- ▶ 免税軽油制度の継続を求める請願
- ▶ 安全・安心を無視した無秩序なライドシェアの導入に反対し地域公共交通を守る施策の推進を求める請願
- ▶ 私学助成の充実強化等に関する請願
- ▶ 私学助成を拡充させ、教育費負担の公私間格差をなくし、子どもたちにゆきとどいた教育を求める請願
- ▶ 国民医療を守ることを求める請願

令和5年12月定例会
第189号

「いわて県議会だより」は各市町村を通じて県内全世帯にお配りしています。点字版・テープ版・デジタル版も用意していますので、ご希望の方は、県議事事務局までお問い合わせください。

音声データ掲載のご案内
「いわて県議会だより」の音声データを若手県議会ホームページに掲載しています。第189号のデータは、2月中旬頃に掲載する予定です。

<https://www.pref.iwate.jp/gikai/koho/dayori/1057389/index.html>



8696-1057389



◎予算関連議案【可決】

農業関係の建設事業に要する経費の一部を負担させることに関する議決の変更に関し議決を求めることについてなど 5件

◎人事議案【同意】

収用委員会の委員の任命に関し同意を求めることについて

■委員会提出議案【可決】

決議 1件、意見書 12件 (詳細は2ページに記載)

▶ 国民のいのちと健康を守るため、医療・介護施設への支援を拡充し、2024年診療報酬・介護報酬を引上げ、ケア労働者の賃上げ・人員配置増を求める請願

◎採択

- ▶ 若手県における産後ケア事業の更なる充実・強化を求める請願
- ▶ 若手県のがん対策の推進に関する請願



ホームページのご案内
議会の概要、議員名簿、本会議の会議録、本会議のインターネット中継、傍聴や情報・資料の手続き等をご覧ください。
<https://www.pref.iwate.jp/gikai/index.html>

郵送・発行・問い合わせ先

若手県議事事務局
〒020-8570 若手県盛岡市内丸10番1号
電話 (019)629-6021・6022 FAX (019)629-6014
E-mail gikai@pref.iwate.jp

若手県庁の隣です



岩手県議会パネル展示

県議会講事堂1階玄関ホールで県議会の歴史や活動を紹介します。パネル展示を行います。どなたでも自由にご覧いただけます。ぜひ、お立ち寄りください。

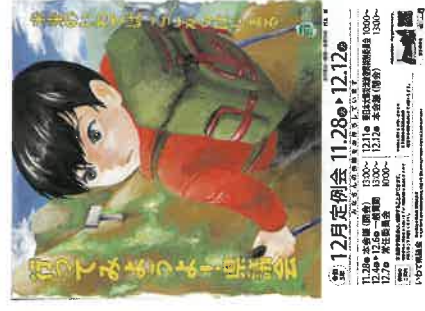
- 展示内容/県議会の歴史、議事堂の変遷、委員会活動の様子など
- 展示時間/月曜日から金曜日 8時30分～17時15分(年末年始・祝日を除く)



若者向け傍聴案内ポスターデザインコンテスト入賞作品の中から、12月定例会のポスターを作成しました。

岩手県立一関第一高等学校 村上千穂 さん

「岩手の未来において、より高みを目指したい」という思いから、登山をモチーフに選びました。また、岩手の自然の陰さや美しさも同時に表現しようと考えました。私たち若い世代でよりよい未来を創るのだ、という思いをみんなと共有したく応募したので、県議会に興味を持つきっかけになれば嬉しいです。



12/5(火) 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「岩手県議会中継」で検索してご覧いただけます。 ※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービスを推奨します。



1人目

いわて新政局

ちば 千葉盛 議員

大船渡・陸前高田 選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

ILC誘致のアピール

問 大船渡港はILCの建設に必要な大型機器等の荷揚げ港としての活用が期待されている。

岩手日報の記事では、弘兼憲史氏が「ILCを実現へ盛り上げていくには、やはり知名度が大事。岩手には世界に通用する大谷翔平選手、佐々木朗希投手がいる。両側から160キロのボールを投げ合い、ぶつかったところでビッグバンが起ころ。これがILCのイメージだと、CGを使った見せ方もある」と語っている。このCGを使ったイメージ映像は、ぜひともILC誘致のために実現すべきではないかと思うが、いかがか。

答 ILCの実現に向けては、ILCの有多様な意義や価値を広く発信し、国民的な機運を盛り上げていくことが重要と認識している。また、令和5年3月以降、研究者から2030年を建設開始とするタイムラインが示されているため、政府による早期の誘致判断が必要であり、それを後押しする機運醸成の重要性がさらに高まっている。

世界で活躍する本県出身の大谷翔平選手などを活用したPRIは、東北、岩手がILCの建設候補地であることを知らしめるだけでなく、「ILCで日本と世界をつなぐ」というILCの意義にも合致する夢のある提案と受け止めているが、実現に向けての課題もあるものと認識している。

県としては、これまで築き上げてきた多様な人材や人脈を生かした取り組みの展開に加え、ご提案の趣旨も踏まえて様々な手法を検討し、さらなる国民的な機運醸成に取り組んでいく。



県作成ILCリーフレット(抜粋)

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 大船渡港の整備
- 2 県庁舎の整備
- 3 人口減少対策
- 4 教育施策



2人目

希望いわて

はなびやま しげる 畠山茂 議員

宮古選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

水産業の持続的な発展

問 近年、岩手県の主要魚種であるサケ、サンマ、イカの不漁が極めて深刻な状況である。水産加工業者の中には、原料を地元で確保できず輸送費を掛けて調達しており、従業員の維持や給与の支払いがままならない状況もあると聞く。また、地球温暖化などにより令和4年度の主要魚種の水揚げ量はサケが震災前の2%、サンマは7%、スルメイカは11%と大きく減少する一方、マイワシ、サバ、ブリなどの水揚げ量が増加している。各漁協や漁家は主要魚種の減少、魚種の変化への対応などに苦慮している。

県は令和4年3月に岩手県水産業リボーン宣言を行っているが、激変する水産業の環境変化を受け、本県水産業の持続的な発展に向けてどのような認識を持ち、取り組んでいくのか伺う。

答 主要魚種の不漁は漁業者や漁協、水産加工業者などの経営に深刻な影響を及ぼしており、水産業リボーン宣言に基づき、関係者が一丸となって主要魚種の資源回復や、増加している資源の有効利用、新たな漁業・養殖業の導入の取り組みを進めていくことが重要である。

サケ資源の回復に向けては、種卵の確保を進め、北海道などからの提供を合わせて目標の約6割の5,000万粒ほどを確保しているほか、ウニ資源の蓄養・出荷では12漁協に取り組みが拡大している。サケ・マス類の海面養殖では、来年度の水揚げに向け、今年度より3地区多い9地区で取り組みが進められている。県では、こうした取り組みを支援しながら、本県の水産業が活性化するように、関係機関・団体と一丸となって取り組んでいく。



養殖場での水揚げの様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 沿岸振興
- 2 岩手県産の農林水産物・食品の海外輸出促進
- 3 鳥獣被害対策とジビエの利活用
- 4 宮古港の港湾振興 ほか



3人目

自由民主党

かわむら しんこう 川村伸浩 議員

花巻選挙区



各議員の質問の詳細と答弁の内容は、動画でご覧いただけます。

海外からの誘客拡大に向けたトップセールス

問 海外からの観光客誘致には、現地海外事務所と連携した取り組みが必要と考えられる。現在、韓国との関係が良好で、誘客が見込められると思うが、ソウル事務所と連携した知事のトップセールスが不足していると感じる。知事が現地に赴き、本県の魅力を発信することで、海外からの誘客に対する意気込みを示す場になるほか、現地の方々と直接意見交換することで現地のニーズを知る機会となるなど、本県の観光産業振興に大きな効果が期待される。観光産業におけるトップセールスを積極的に行ってほしいと思うが、今後の方針を伺う。

答 これまで、いわて花巻空港への定期便チャーター便の誘致と連動して、中国、台湾、香港などで航空会社や旅行会社の訪問や観光交流レセプションの開催、また、農林水産物や日本酒の輸出拡大に向けた取り組みと連動して、東南アジアや北米などで観光PRを行うといったトップセールスを展開してきた。

今般の盛岡市のニューヨーク・タイムズ紙への掲載や本県出身のスポーツ選手の活躍などにより、岩手県の知名度が世界で高まっていることから、この契機を生かし、海外からのさらなる誘客拡大を図っていきたい。

今後は個人旅行者の伸びが期待できる国や地域へのアプローチを進めていくほか、近年は韓国からスキーなどの特定の目的を持った旅行者が増加している状況を踏まえ、北東北三県・北海道ソウル事務所と連携したトップセールスの実施も検討していく。



海外でのトップセールスの様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 農業振興
- 2 いわて花巻空港の利用促進
- 3 GXの推進
- 4 DXの推進 ほか

12/6 水 一般質問

各質問者の録画映像はQRコードからご覧いただけます。または「若手県議会議中継」で検索してご覧いただけます。
※視聴環境はWi-Fiおよび各キャリアの高速回線サービス推奨します。



1人目

いわて県民クラブ・無所属の会

くどう つよし
工藤 剛 議員

◆八幡平選挙区



各議員の質問の詳細と
各弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。

スキー場を核とした観光振興

問 スキー場は、小さな頃からウインタースポーツに慣れ親しむためにも欠かせない施設であり、冬季の観光施設でもあるが、県内スキー場の来場者数を見ると、コロナ感染症や物価高の影響もあって落ち込み傾向にある。

ウインターリゾートの核となるスキー場に、国内外から積極的に誘客していくことは、若手の観光にとどまらず、ウインタースポーツへの関心の高まりと振興にもつながると考えるが、スキー場を核とした観光振興に対する県の考えと取り組みについて伺う。

答 県内スキー場の来場者数は、アルペンスキー世界選手権盛岡・磐石大会が開催された平成初期の350万人前後をピークに大きく減少しているが、最近では外国人の来場が目立ち、また、バック・カントリー・スキーなどの人気も高まっている。若手県にとつてスキー場は冬季の観光客を確保する上で欠かせない存在であり、県内のスキー場は、雪質に恵まれ市街地からのアクセスに優れるなど、国内外から高い評価を得ている。今年度は1月からいわて冬旅キャンペーンの一環として、民間と連携して首都圏で県内スキー場のPRイベントを開催するほか、旅行商品の造成支援、さらには海外からの誘客を図るため東北観光推進機構や青森県、秋田県と連携し、インフルエンサーの招待なども実施している。また、八幡平市では民間の方々が旧八幡平スキー場の活用に取り組んでおり、こうした取り組みと連携しながら国内外からの誘客を図り、スキー場を核とした冬季の観光振興を図っていく。



いわて冬旅キャンペーンチラシ

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 人口減少対策
- 2 第一次産業の振興
- 3 東北地域の高規格道路の整備
- 4 市町村との連携

県議会からのお知らせ

●若手県議会公式チャンネル(YouTube)

一般質問等のほか、若手県議会の役割や議員のしごとなどをわかりやすく紹介する動画「わたしたちの若手県議会」をYouTubeで配信しています。公式チャンネルからご覧ください。

若手県議会公式動画チャンネル

●若手県議会Facebook

議会の日程や最近のトピックなどを配信するため、若手県議会Facebookページを開設しています。県議会ホームページの「若手県議会Facebook」をクリック！



2人目

自由民主党

むらかみ ひろき
村上 秀紀 議員

◆紫波選挙区



各議員の質問の詳細と
各弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。

クマ被害対策の強化

問 昨今、クマによる被害は深刻化しており、農業被害のみならず人的被害も珍しくなくなっている。

著しく増加するクマ被害に対しては、農業被害の防止という観点にとどまることなく、市町村とも連携しながら、市街地への出没の抑制、さらにこれまでに以上の捕獲などに取り組んでいく必要があるのではないかと、狩猟を担う方々への支援を含め、今まさに緊急的な対応が必要と考えるが、知事の考えを伺う。

答 11月27日に開催したツキノワグマ緊急対策会議では、科学的な知見に基づく個体数管理と被害防止対策について、関係者で改めて情報共有を図るとともに、必要な情報を県民に発信することができたと考えている。

これまで本県では、クマとの適正な共存関係を探る中でも、捕獲許可の弾力的な運用を行ってきっており、11月20日時点で県内の捕獲頭数は820頭に達している。11月13日には北海道・東北地方知事会の会長として、クマの指定管理鳥獣への追加などの緊急要望を行い、環境大臣や農林水産副大臣にも強い危機感を共有していただいた。

自然と人間の共存を図り、中山間地域の未来を創っていくためには、クマを人の生活圏に寄せ付けないゾーニングの考え方を普及させるとともに、冬眠明けに行われるクマの春季捕獲を県として支援する必要がある。そのため、今議会に追加提案する補正予算案に必要な経費を計上しており、市町村や猟友会などと連携しながら、自然と人間が共存できる地域社会を築いていく。



北海道東北知事会による緊急要望の様子

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 いわて県民計画(2019~2028)
- 2 子育て環境の充実
- 3 多様化する社会環境への対応
- 4 地域医療 ほか



3人目

日本共産党

たかだ いちろう
高田 一郎 議員

◆一関選挙区



各議員の質問の詳細と
各弁の内容は、動画で
ご覧いただけます。

中小零細事業者への支援

問 30年に及び経済停滞に物価高騰が襲いかかり、県民生活の厳しさを深刻にしている。中小零細事業者は、売上が上がっても粗利益は落ち込み中、融資返済とともに賃上げに取り組みながら、事業の継続に努力しているが、5年間で県内の事業所は3,077事業所が減少するなど、厳しい現状にある。

中小企業者等事業継続緊急支援金の売上要件を緩和し、支援金を引き上げ拡充すべきである。例えば、大船渡市では、法人は15万円、個人には7.5万円の上乗せを行うなど、県内9市町で県の事業に上乗せを行い、事業者から大変歓迎されている。

物価高騰で影響を受ける事業者から最も歓迎されている事業であり、市町村と連携して取り組むべきではないか。

答 中小企業者等事業継続緊急支援金は、エネルギー価格・物価高騰の影響を受ける中小企業者に緊急的な支援を行う制度として、これまで2回にわたって市町村とも連携しながら実施し、事業者の事業継続に一定の役割を果たしてきたものと認識している。

物価高騰などは依然として続いているが、今後は、物価高騰に負けない県民の安定した暮らしの実現に向けて、中小企業者の賃上げを促進していく施策がより求められていると考えている。

このことから、今議会に中小企業者の賃上げ支援のための予算案を追加提案する予定であり、今後は、この支援事業を通じて中小企業者の事業継続を支えていく。



中小企業者等事業継続緊急支援金(令和5年度事業)チラシ

■上記のほかに、下記についても質問をしています。

- 1 賃上げと待遇改善 人間を大切に作る働き方改革
- 2 子育て支援策と社会保障の拡充
- 3 年金制度
- 4 高すぎる国保税 ほか

●インターネット中継

県議会ホームページでは、本会議や予算・決算特別委員会のライブ中継のほか、録画中継も行っていますので、ぜひご覧ください。

●テレビ広報 県議会ダイジェスト番組「きょうの県議会」[総集編]

一般質問の様子を3分程度にまとめた番組を、テレビ岩手、岩手めんこいテレビの各放送局で質問当日の18時50分台に放送します。また、一般質問が終わった翌々週の土曜日に「きょうの県議会総集編」をテレビ岩手で放送します。令和5年度からは字幕および手話通訳を付ける取り組みを行っています。*放送時間に変更になる場合があります。

●一般質問に登壇する議員と質問項目

各定例会で一般質問に登壇する議員と質問項目は、定例会開会日の本会議終了後に県議会ホームページでお知らせいたします。県議会ホームページで「一般質問通告」をクリック！



若手県議会公式動画チャンネル

若手県議会ホームページの「若手県議会Facebook」をクリック！